

平成29年度 天子田デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

平成29年度は、①レスパイト（家族の休養）②機能訓練 ③認知症予防・緩和 ④ナーシング（医療対応）の4つの機能の強化と安定を図る事を目標としてきた。①レスパイトは、早朝対応や送り時間の調整を行う事で、家族の要望に出来る限り応えてきた。②機能訓練は、28年度同様加算なしの個別リハビリを提供し、新規利用者ニーズについても、再確認をすることが出来た。③認知症予防・緩和は、日常生活動作の見守りを行いつつ、必要な声かけ、レクリエーション参加の促し、脳トレ問題の提供など、個々人にあった対応を行ってきた。④ナーシングは、重度化し医療的ニーズが高くなった利用者の受け入れを継続するに当たり、家族・ケアマネ・デイサービス相談員およびナースが連携を図り対応した。以上の取り組みを通して、加算は取れなくとも、利用者・家族・ケアマネのニーズに応えつつ、今可能なサービスの質を向上させることで経営安定を図るべく、以下の事業を展開した。

1 基本方針

当施設にあっては、創設者の「愛するものは愛される」の経営理念に基づき、長年のデイサービスセンター経営の経験と、そのノウハウの蓄積を活かし「尊厳と生きがいのある生活」「利用者本位の自立支援」を基本として、利用者の要介護状態の軽減もしくは悪化の防止、又は、要介護状態となることの予防を資するものである。

2 介護度の改善・維持の取り組み

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのためにケアマネとの連携を図り、利用者課題の把握に努め、ケアプランに基づいた個別プログラム（歩行・立ち上がり・発声など）により利用者の介護度の改善と維持に取り組んだ。

3 介護予防通所（予防専門型通所）事業への取り組み

平成18年度より、「介護予防通所事業」が実施された。当デイサービスにおいても、「要支援」利用者の要望も強く、「介護予防」の事業施設として参入した経緯もあり、アクティビティを中心に事業の実施を行ってきた。平成28年6月からは総合事業が開始となり、要支援の方全員が、更新月に介護予防通所サービスから予防専門型通所サービスに移行となった。

4 第三者評価事業及び情報開示事業の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた、民主的で健全な事業経営が求められており、第三者評価事業として名古屋市在宅介護サービス事業連絡研究会に、情報開示事業として愛知県介護情報公表センターへ調査を委託し、利用者、家族に「安心」と「信頼」を得られるよう、常にサービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

5 アクティビティ活動の促進

18表(一日のサービス実施内容)参照

季節に応じたイベント行事に加え、レクリエーション活動を毎日提供することで、利用者の主体性や満足度を高め、利用者獲得にもつながった。

6 事故防止対策の取り組み

事故報告とヒヤリハット報告を毎月の職員会議の議題で取り上げ検証を行い、周知・徹底を図る事が大きな事故を未然に防ぐ事に繋がるという認識を職員が持ち、事故防止に取り組んだ。また事故発生時においては、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するよう努めた。

7 相談・苦情

利用者・家族からの苦情は、施設に対して抱く期待や要望が裏切られたと感じた時に、不満となって跳ね返ってくる事が多く、苦情・要望・意見は業務改善に繋がるものである。利用者・家族からの率直な意見を、適切に収集し、真摯に受け止めるために「相談(苦情)受付表」と「できごと報告書」の手順と書式を改め、活用に努めるとともに、利用者懇談会を設け、利用者の意見や要望に対して、出来る限りの改善に努めた。

また日頃から、何気なく交わされる会話の中で、利用者や家族の悩み・不満を察知し、話をする機会を設けるなど、早めに問題解決を行った。ケアマネからの相談・苦情についても、円滑、迅速に対応した。

8 個人情報保護

当デイサービスセンターは、日常、利用者の情報及びプライバシーを多く扱っており、その性質上いったん誤った取り扱いをすると利用者に被害を及ぼすおそれがあり、全職員に「個人情報」の管理及び適切な使用など、周知徹底に努めた。

9 職員の安全衛生・メンタルヘルス・リフレッシュ事業の取り組み

近年、職場での心理的負荷(精神的ストレス)によるところの病気が問題となっている。職場内において事前に予防するメンタルヘルスや、安全衛生の取り組み(交通安全危険予知や感染症対策・不審者対応等)を行い、この事業を通じて心理的、精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と健康(心身)を保持し、良質な介護サービスが提供できるように努めた。

今年度も、映画チケットの配布や、助成制度ありの観劇チケット入手機会を設ける等、他部署との会食以外にも、職員のリフレッシュを心掛けた。

10 設備・備品の改善

利用者の環境改善と職員が働きやすい環境整備をめざし、以下の改善を行った。

- ・EVのロープ、緊急時バッテリーの交換
- ・南側カーテン、ブラインドの交換
- ・空調室外機の修理
- ・チェアー浴バブラーブロー交換
- ・ナース処置台の買い替え
- ・防災用品補充
- ・ブレンダー(ミキサー食対応)購入
- ・高圧洗浄機購入(清掃、洗車用)
- ・カラーコピー機の買い替え
- ・FAX複合機の買い替え
- ・貯水槽の清掃
- ・ガスコンロ、食洗機、食器棚の買い替え
- ・脱衣場床材の張替え
- ・浴槽水位センサー修理
- ・給湯用配管取り替え

11 職員の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

	施設長 (人)	生活相談員 (人)	看護師 (人)	介護士 (人)	計 (人)
正規職員	1	2	0	1	2
臨時職員	0	0	0	2	2
非常勤職員	0	3	4	8	10
計	1	5	4	11	14
兼務	①	⑤	④	⑥	

12 職員の研修状況

4 月	・送迎時の安全運転に関する研修	内部研修
5 月	・事故発生 (緊急) 時の対応に関する研修	内部研修
6 月	・接遇に関する研修 (ご利用者やご利用者のご家族への対応)	内部研修
7 月	・当該サービスに関する研修 業務マニュアルの見直し等	内部研修
8 月	・非常災害時の対応手順 火災時の対応フローチャート研修	内部研修
9 月	・介護保険法改正の全てと介護報酬改定の行方 節電方法 ・認知症ケア及び認知症研修及び勉強会	外部研修 内部研修
10 月	・感染防止対策に関する研修	内部研修
11 月	・生活援助の見直し調整	内部研修
12 月	・薬学基礎知識研修 ・救命救急研修 ・法令遵守 (コンプライアンス) の基礎研修	外部研修 内部研修
1 月	・医学基礎知識研修 ・救命救急研修 ・送迎サービスのマニュアル見直し	外部研修 内部研修
2 月	・接遇チェックリストの実施 介護記録の記入研修	内部研修
3 月	・来年度の体操クラブの導入にあたり準備検討	内部研修

13 区別登録者の状況 (障害者含まず)

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

	守山区	千種区	名東区	尾張旭市	計
男性 (人)	15	0	1	0	16
女性 (人)	24	1	0	2	27
計 (人)	39	1	1	2	43

14 利用者の要介護度の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

登録現員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
43 人	1 人	5 人	15 人	15 人	4 人	2 人	1 人	1.9
100%	2%	12%	35%	35%	9%	5%	2%	—
28 年度	2%	8%	38%	36%	6%	6%	4%	1.9

15 利用の状況

(平成30年3月31日現在)

	実施 日数	登録者数			延利用者数				29年度	29年度	28年度	28年度
		総合 事業	介護 予防	通所 介護	総合 事業	介護 予防	通所 介護	利用者数合計 (障害者数)	平均利 用者数	稼働率	平均利 用者数	稼働率
4月	25	6	0	46	30	0	426	456/(44)	20.00	80.00	18.34	73.36
5月	27	6	0	47	33	0	451	484/(36)	19.26	77.04	19.38	77.53
6月	26	5	0	44	30	0	406	436/(34)	18.07	72.28	19.34	77.34
7月	26	4	0	43	24	0	442	466/(36)	19.30	77.20	16.76	67.07
8月	27	3	0	44	16	0	439	455/(40)	18.33	73.32	17.88	71.55
9月	26	3	0	42	16	0	411	427/(41)	18.00	72.00	20.00	80.00
10月	26	4	0	41	20	0	443	463/(40)	19.35	77.40	20.62	82.46
11月	26	4	0	42	24	0	431	455/(38)	18.96	75.84	20.92	83.69
12月	26	4	0	42	23	0	431	454/(40)	19.00	76.00	20.35	81.40
1月	24	4	0	40	23	0	374	397/(39)	18.17	72.68	17.87	71.50
2月	24	4	0	38	23	0	339	362/(36)	16.58	66.32	19.00	76.00
3月	27	5	1	37	29	4	392	425/(41)	17.26	69.04	19.62	78.51
計	310	52	1	506	291	4	4985	5280 障害(465)	—	—	—	—
平均	25.8	4.33	0.08	42.1	24.2	0.3	415.4	440 障害(38.7)	18.53	74.12	19.18	76.70

16 利用者のADLの状況 (障害者含まず)

(平成30年3月31日現在)

ADL		男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)
歩行	全 介 助	3	2	5	12
	一 部 介 助	2	9	11	25
	自 立	11	16	27	63
食事	全 介 助	1	0	1	2
	一 部 介 助	2	0	2	4
	自 立	13	27	40	94
入浴	全 介 助	2	1	3	6
	一 部 介 助	5	9	14	16
	自 立	9	17	26	78
着脱衣	全 介 助	2	1	3	6
	一 部 介 助	8	7	15	33
	自 立	6	19	25	61
排泄	全 介 助	1	2	3	12
	一 部 介 助	4	2	6	19
	自 立	11	23	34	69
認 知 症		6	21	27	63

17 年齢別の状況（障害者含まず）

（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	男性（人）	女性（人）	計（人）	割合（％）
60 歳～64 歳	0	0	0	0
65 歳～69 歳	1	1	2	4
70 歳～74 歳	0	2	2	4
75 歳～79 歳	5	9	14	33
80 歳～84 歳	5	6	11	25
85 歳～89 歳	1	7	8	16
90 歳～94 歳	4	1	5	16
95 歳～99 歳	0	1	1	2
100 歳以上	0	0	0	0
計	16	27	43	100
平均年齢	82.5	81.7	82.0	—

18 一日のサービス実施内容

身体機能の維持向上を図り転倒予防に努める・脳の活性化を図り認知症の進行予防に努める・気分転換を図り精神的安定を図る等を目的として、複数のメニューから利用者自らが主体的に選択することを重点に置き取り組んだ。また、要支援・要介護共通メニューとして口腔機能・運動機能の維持向上や栄養改善に努めた。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題 カレンダー作成 間違い探し・針仕事 折り紙・塗り絵・オセロ 将棋・パズル・編み物 習字・ちねり絵 トランプ・筒絵作成	壁飾り作り・ちぎり絵 押し花工作・習字・水墨画 カラオケ・針仕事・回想法 オセロ・将棋・トランプ おやつ作り・折り紙 買い物体験（リハビリ評価） 編み物・ハンドベル 各種工作・写経	フェイシャルマッサー ージ 季節ごとの行事 メイク ボランティアの演芸 作品展見学
運動	健康チェック 集団体操	外出・体感ゲーム・輪投げ カラーリング・ボーリング テーブルホッケー・散歩 ラジオ体操 季節ごとのゲーム	準備体操・整理体操 ※個別リハビリ 足上げ歩行・蟹歩行 上半身ストレッチ ウォーキングマシン ペダル漕ぎ・平行棒・ ゴムバンド運動
口腔	口腔体操・歌	カラオケ・会話・談話	発声訓練・口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	